

豊明市の地域公共交通の課題

豊明市の現状や公共交通のサービス状況、市民・バス利用者・チョイソコ利用者意向と社会情勢の変化及び豊明市の上位関連計画より、以下の5つの集約課題が導かれます。

① 前後駅や市役所などの拠点を中心とした公共交通体系の確保・維持

- まちづくりと連動した前後駅、市役所等の拠点間を効率的に運行する現行運行形態の継続
- 市民等の日常的な移動手段として定着する現行公共交通サービスの継続
- オンデマンド交通のサービスの継続
- タクシーの積極的な利活用を推進

② 周辺市町の主要集客施設立地に伴う新たな広域的移動需要への対応

- 前後駅、藤田医科大学病院を交通結節点とした広域的な公共交通ネットワークの確保・維持
- 前計画で位置づけた広域連携の強化に資する事業の継続

③ 安全安心な利用を可能にする情報提供とサービス維持に向けた利用促進

- ウィズ・コロナにおける安全・安心対策と公共交通が選択・利用される取組の推進
- 施設整備による安全・安心な利用環境の確保

④ 誰もが利用しやすい公共交通サービスの提供

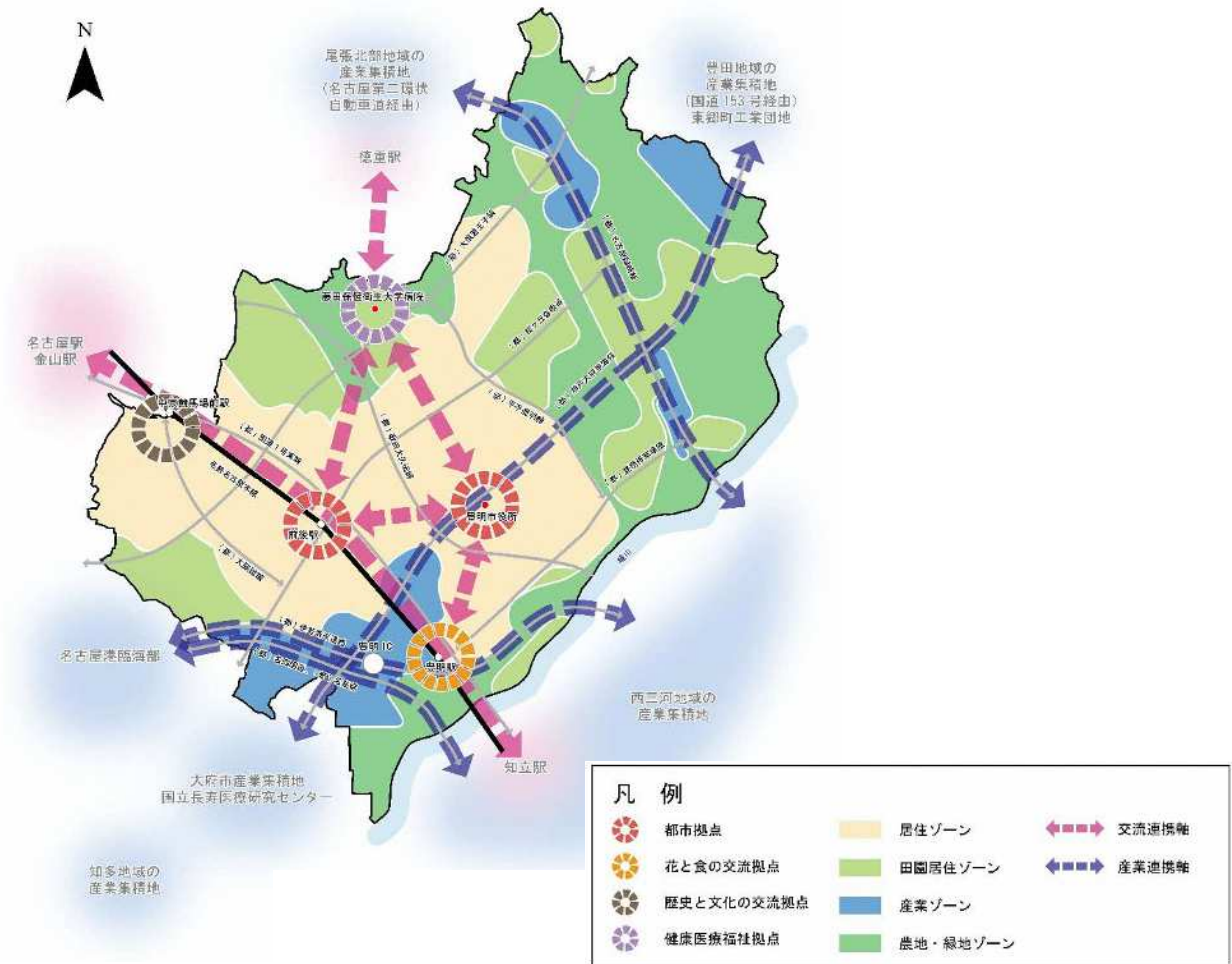
- 利用特性を踏まえた乗り継ぎ利便性が向上するダイヤの見直しと情報の提供
- 路線図やダイヤ等のオープンデータ化の推進
- 高齢者や障がい者も利用しやすい交通手段の提供
- 新たなモビリティサービスの可能性や方向性の検討
- 公共交通の利便性が高まり、利用増進へと繋がる取組の展開

⑤ 地域特性に応じた移動ニーズへの対応と公共交通維持の仕組みづくり

- 交通空白地域の移動ニーズに応じた、適切な地域交通手段の選定
- 多様な関係者が連携・協働し、公共交通を育む仕組みを構築・支援

豊明市の交通将来像

「公共交通が人と人をつなぐ しあわせのまち」



基本方針

基本方針 1

住みやすいまちづくりのため、多様な公共交通が相互に連携を深め、拠点中心の公共交通体系と広域的な公共交通ネットワークを確保・維持します。

基本方針 2

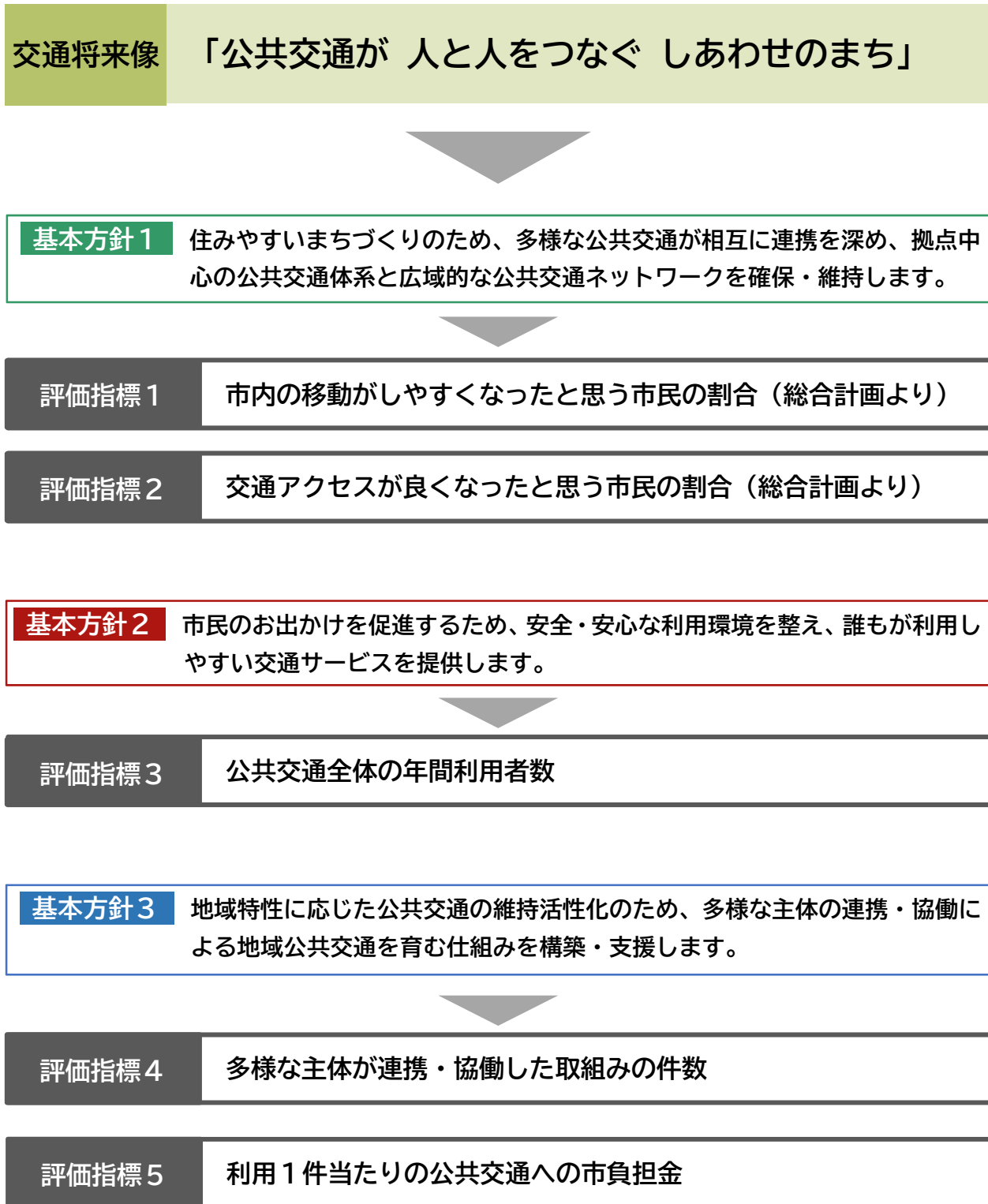
市民のお出かけを促進するため、安全・安心な利用環境を整え、誰もが利用しやすい交通サービスを提供します。

基本方針 3

地域特性に応じた公共交通の維持活性化のため、多様な主体の連携・協働による地域公共交通を育む仕組みを構築・支援します。

計画目標と評価指標

豊明市が目指す交通将来像「公共交通が人と人をつなぐしあわせのまち」を実現するために、基本方針に基づく評価指標を設定します。



目標	評価指標と目標値			
【評価指標 1】 基本方針 1 の達成度 の評価	【指標】まちづくり指標の達成度（第5次豊明市総合計画）			
	評価項目	目標値[R8]	現況値[R2]	
	市内の移動がしやすくなったと思う市民の割合	66.5%以上	65.1%	
【評価指標 2】 基本方針 1 の達成度 の評価	【指標】まちづくり指標の達成度（第5次豊明市総合計画）			
	評価項目	目標値[R8]	現況値[R2]	
	交通アクセスが良くなったと思う市民の割合	66.7%以上	63.8%	
【評価指標 3】 基本方針 2 の達成度 の評価	【指標】公共交通全体の年間利用者数（万人・人/年）			
	評価項目	目標値[R8]	現況値[R1]	参考値[R2]
	公共交通全体	1,536.4 万人	1,474.4 万人	1,108.5 万人
	鉄道	1370.7 万人	1,315.4 万人	1,003.8 万人
	名鉄バス	147.2 万人	141.3 万人	91.3 万人
	ひまわりバス	174,492 人	167,459 人	125,276 人
	チョイソコ	10,434 人	10,013 人	8,731 人
*鉄道は駅別乗降者数、名鉄バス・ひまわりバス・チョイソコは利用者数				
【評価指標 4】 基本方針 3 の達成度 の評価	【指標】多様な主体が連携・協働した取組みの件数			
	評価項目	目標値[R8]	現況値[R1]	参考値[R2]
	多様な主体が連携・協働した取組みの件数	2 件以上	2 件	2 件
【評価指標 5】 基本方針 3 の達成度 の評価	【指標】利用1件当たりの公共交通への負担金（円/件）			
	評価項目	目標値[R8]	現況値[R1]	参考値[R2]
	合算	451 円以下	471 円	648 円
	ひまわりバス	386 円以下	403 円	565 円
チョイソコ	1,533 円以下	1,598 円	1,833 円	
*チョイソコの現況値・参考値は、本格運行後の想定負担金額にて試算				